



研修センター2階ロビーにあるゴミ分別体験コーナー。7種類の分別に対応しています。

長かった夏もようやく終わりを告げ、朝夕には実習生の皆さんからも「すずしいです」「すこし さむいです」等の言葉が聞かれるようになりました。気候の急変に対応できず体調不良を訴える実習生が出始めるこの時期、生活指導や日々の授業を通して、体調の自己管理の重要さの呼び掛けが始まっています。

## あじけんスコープ Vol.135

## ～入寮後の生活指導～

今月のあじけんスコープは、入寮翌日に行われる「生活指導」の様子をレポートします。生活指導は来日して右も左も分からない実習生の皆さんが、日本での生活をスムーズにスタートさせられることを目的に行われています。

指導を担当するのは日本での経験が豊かな当校の外国人指導員で、日本で暮らす時に特に注意が必要な点について、実習生の母語で分かり易く説明していきます。その中でもゴミの分別は、近隣住民とのトラブルに直結してしまう事なので重点的に指導しています。



ゴミの分類について説明するアェプ指導員（インドネシア人担当）



資源ゴミの分類を確かめる実習生

## 今月の実習生

今月は、趣味がミャンマーの民族衣装を縫う事と話してくれた HI MOH MOH PYAE PHYO (ピョー) さんに、日本に持ってきた自作のロンジー（ミャンマーの女性用スカート）を披露してもらいました。



はじめましてわたしはピョーと申します。ミャンマーのモン族ウ  
からきました。わたしのせんもんは ほうせいです。ゆみはミャンマーの  
ふくをつくることです。じろじろなデザインをつくるのが好きです。  
これはわたしがつくったロンジーです。わたしがごくのためにとが  
ほうがのひににもぬじます。



持参した自作のロンジー姿  
のピョーさん



自作の民族衣装姿のピョーさん \*ミャンマーで撮影

# あじけん流日本語授業

## ～清掃の時間を使ったやりとり練習～

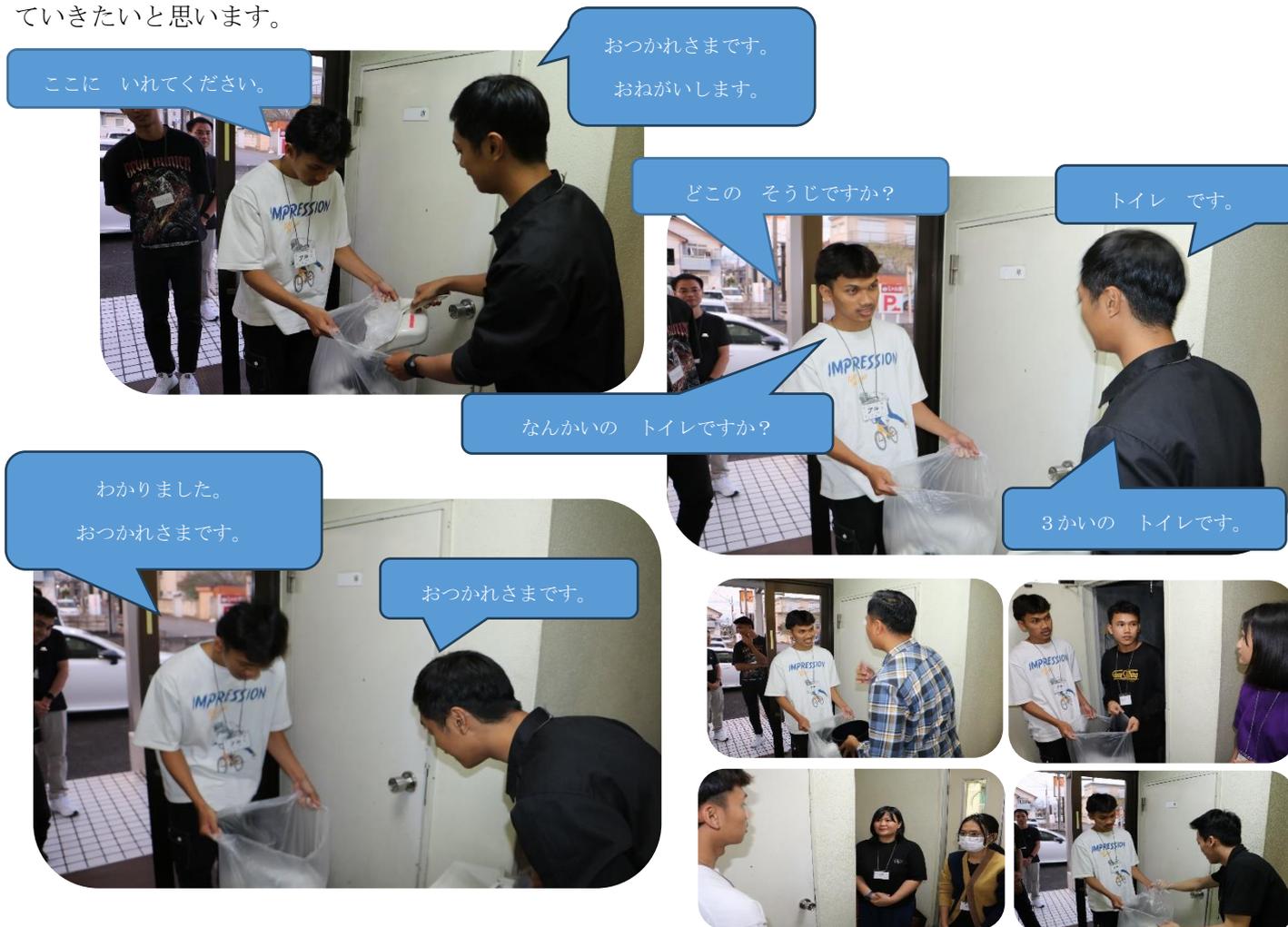
今月のあじけん流日本語授業は、清掃の時間を使った実習生同士のやりとり練習をご紹介します。

当校では授業の最後に一斉清掃を行っています。各教室はもちろん、トイレ、教務室、事務所などの清掃を各クラスに割り振り、全実習生が清掃活動を行います。その中で、校舎のゴミを回収する当番がいるのですが、その当番と、各掃除場所のゴミをゴミ捨て場に持ってきた実習生がやりとりをしています。

やりとりについては、下記の写真をご覧ください。

講師と実習生のやりとりは、講師側がリードすることで比較的スムーズに進めることができますが、実習生同士のやりとりは、お互いの日本語が通じないこともあります。しかし、そこが日本語の運用力をつけるチャンスとなります。聞き取れなかった言葉を聞き返したり、答えに不足があった場合には、その確認をするやりとりが増えたりします。やりとりの間のあいづちや、質問の仕方、答え方など自然な形で学習することができます。また、相手が同じ実習生ということもあり、リラックスして話すことで、自然と笑顔で会話することもできます。実習生にとって「日本語が通じた」という成功体験は、実習生の日本語に対するモチベーションにもつながると考えています。

これからも、日本語の授業だけではなく、ここでの生活全般が実習生のさらなる学びになるよう、工夫をしていきたいと思えます。



たくさんの実習生と交流します

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。